

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第1号
2018年5月18日発行

今年度も府立人研の研究交流活動をよろしくお願い致します

第1回 オープン・セミナー 「進路調査・奨学金チーム」企画

学びつづけるために ～ 奨学金の取り組み ～

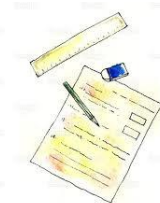
4月27日(金)、柴島高校を会場として、奨学金に関するオープン・セミナーを開催し、60名の参加があった。

前半は、大阪府社会福祉協議会から「介護福祉士修学資金貸付制度」と「保育士修学資金貸付制度」について説明を受けた。これらの制度は各資格の取得を目的として養成機関(専門学校・短大・大学)に在学している間、貸付を受けることができるものだ。養成機関卒業後、府内の施設で介護福祉士または保育士として5年以上勤務すれば、返済免除という措置がある。ただし、気をつけなければならないのは、これらの仕事以外に就いた場合や途中で学校をやめてしまった場合、早期に返済をしなければならなくなるということである。すなわち返済は若年のうちに完済しなければならない。担当者によると、府外の施設に就職したり、途中で学校をやめたケースが数件あったという。個々の事情により、返済の計画について相談や見直しにも応じるとのことだった。進学後、進路変更の予定が無く、資格取得後、府内で勤務することが確実な生徒とその保護者に紹介したい制度である。2つの貸付制度については、詳細が大阪府社会福祉協議会のHP(<http://www.osakafusyakyō.or.jp/fcenter/Cms/Public/topic/16>)に掲載されている。

後半は、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金制度や業務について、各校での取り組みの様子や担当者

として疑問に感じていることなどの意見交換を行った。昨年度より、『給付奨学金』が導入されたことに伴い、“選考の基準”や、“現役生と既卒生の配分”をどのようにするか問題になっている。生徒の学習成績のみで判断するところもあれば、出席状況や学校での取り組みの様子を加味して判断するところもあった。どの学校も生徒にとって公平・公正である基準づくりすることに苦心していることもわかった。“第1種と第2種の応募はどのようにするのが生徒にとって有利か”、“LAN教室での一斉入力の工夫”といった実際・実務的な内容にまで多岐に渡って意見交換ができた。既に配付された文書の訂正や詳解、追加の案内が、あとからFAXによって学校に送信されることも多いため、担当者がどの情報も漏れなく受け取ることに細心の注意を払わなければならない。

さらに注意しなければならないことの一つに、今年度、申込にあたって「マイナンバー」の入力が加わったことがある。この番号は、個人情報に関する最も大切なもので、入力時やそれまでの扱い、保護者への案内をどうするかや、そもそも奨学金を受けるために「マイナンバー」は必要なのかといった意見も出された。また、“奨学金”という名前がついているものの実情は“借金”(貸与型の場合)であるという事実についても丁寧に指導しなければ



ならないという意見も多く出された。どれくらいの期間、どれだけの金額を返済し続けなければならないのか？返済を続けるためにどのように社会参加していかなければならないのか？金銭面から見たライフプランニングについても指導する必要がある。

今年度のオープン・セミナーも、教職員が生徒一人ひとりの様子と家庭の状況を把握し、継続して支援・指導していくことが大切であると確認する場となった。

また、奨学金業務を異動1年目の教職員が一人で担当していることも少なくないようだ。それぞれの学校なりの生徒の支援の方法や膨大な奨学金業務に落ち着いて対応できるようにするための工夫も考えていかなければならない。

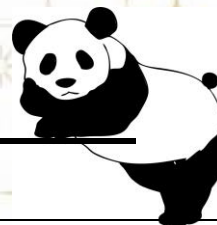


注1 本記事にある情報は4/27時点のものです。

注2 給付奨学金についての最新の情報は、日本学生支援機構のHP (<https://www.jasso.go.jp/>) をご覧ください。ガイドライン、ガイドラインQ&A、推薦基準の例が掲載されています。



第1回 研究部会のお知らせ



6月1日（金）午後2時より 柴島高校にて開催

阪急京都線「崇禅寺」駅より南西 約300m

阪急千里線「柴島」駅より西 約300m

教材	進路保障	ケーススタディ
生徒たちの居場所をつくる ～「NPO 法人との協働」と 「児童生徒の自己肯定感を育む 支援学校の取り組み」～	進路保障のあり方 ～就職、労働現場に 見る今日的課題～	生徒へのアプローチ ～「WISC-IV」の可能性～
報告 認定NPO 法人DXP（ディーピー） 府立今宮工科高等学校（定） 府立守口支援学校	報告 大阪府商工労働部雇用促進室労政課 OSAKA しごとフィールド	報告 府立高槻支援学校

便利です“活案”メール!!

府立人研では、“活動案内メール”を配信しています。研究部会やオープン・セミナーの案内を配信します。



みなさんがお使いのEメールアドレスを登録してください。件名に「活動案内メール希望」、本文に「学校名・名前」を記入したEメールを、右記アドレスに送信してください。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号
府立柴島高等学校内

※通送便には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）

※お問い合わせはできる限りEメールをご利用ください。

お電話の場合は、火曜日をお願いします。

E-mail furitsujinken@nifty.com

ホームページ <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

* 「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです*